



事故当日と同じ1月24日に開催された「安全の集い」では参加者全員で伯備線触車事故を振り返るとともに、安全に対する思いを共有した

伯備線触車死亡事故から20年 安全の集いと追悼献花式を行う



「安全の集い」終了後に行われた献花式で安全の誓いを述べる米子地本亀山執行委員長

2006年1月24日に発生した伯備線触車事故で、3名の尊い仲間の命を失ってから20年が経過した。米子地方本部では、1月24日に「米子地方本部2026年安全の集い」の開催と、根雨駅構内にある「安全碑」で追悼献花式を行い、3名の御霊に哀悼の誠を捧げるとともに、一度とこのような事故を発生させないよう、

参加者全員で安全の誓い新たに

参加者全員で安全の誓いを新たにしました。

米子ワシ

ントンホテルプラザで開催された「2026年安全の集い」には、米子地方本部約70名の組合員と中央本部から川端書記長、杉野教育部長、組織内議員で議員団会議議長の中田利幸氏が参加した。

冒頭、米子地方本部亀山執行委員長は、「鉄道事業は多くの職種・系統エリア間、他会社との連携のもと成り立っており、『確認会話』が重要である。安全を最優先とし列車を運行するためにはワンチームで業務に当たらないといけない。お客様はもとより、働く社員を守るため、安心して働ける環境を米子地方本部として創り上げていく」と挨拶した。

その後、事故直後のニュース映像を視聴し、事故後入社の執行委員から事故概況の説明を聞き、「JR西労組JR西日本連合 安全お守り手帳」を活用したデイスカッションを行い、参加者全員で伯備線触車事故を振り返るとともに、安全に対する思いを共有した。



式典にて安全の碑に花を手向ける参加者



参加者全員で御霊に哀悼の誠を捧げるとともに、改めて安全の誓いを新たにしました

ロマンは実を結ぶ

福岡地方本部 工務博多分会

No.376

私たちが工務博多分会は、小倉新幹線保線技術センター(博多・博多基地保線管理室)、博多新幹線電気技

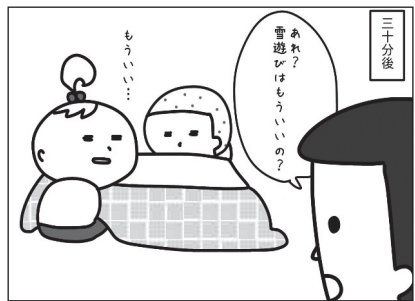
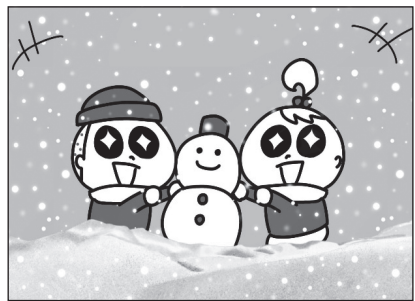
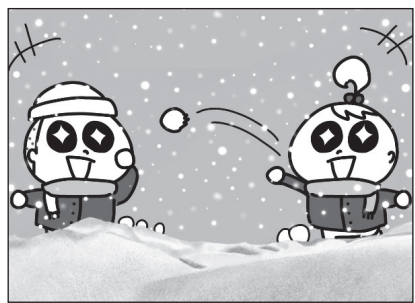


女性組合員の増加を機に 職場の多様な意見の交換を実施

術センター、グループ会社への女性組合員とともに、多様な意見の発信聞き取りを構成されています。昨年12月16日に分会大会を開催し、野口分会長のもと、新しく女性組合員にも執行部に入っていたいただきました。

最近では、工務関係も女性組合員が増えてきています。これから新しく執行部に加わってくれた

それいけ！ はりまくん おぼたみゆき



また、工務博多分会は施設電気の2系統が、一緒に活動している分会のため、組合員同士の懇親を深めるため、レクリエーションや意見交換

会などを開催し、組合活動をする中で親しくなり、仕事を進めるうえでも円滑に業務を進めることができるよう活動していきたいと考えています。引き続き、各方面からの指導・鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

(福岡地本発)



事故現場にて亡くなられた仲間の御霊に花を手向けた

2001年1月24日に、山陽本線明石朝霧駅間で発生した触車死亡事故から25年が過ぎた。2026年1月24日に、中央本部と神戸地方本部は、神戸保線区西明石管理室内に、JR西労組の強い要望で建立された「安全の碑」と事故現場にて、哀悼の意を込めて花を手向けた。そして、お亡くなりになられた仲間の組合員の御霊に、二度と仲間を失うような事故を発生させない決意を報告した。

山陽本線明石朝霧駅間 触車死亡事故から25年

二度と悲劇を繰り返さない 決意を固める

となく、安全な鉄道を築く誓いを固め合った。JR西労組は、「働く者の安全の確保がひいては鉄道

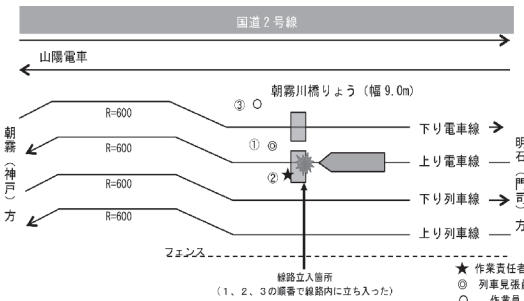
の安全確立につながる」との信念の下、引き続き安全最優先とする風土の構築を行っていく。

山陽本線 朝霧・明石駅間触車事故

事故の概況

2001年1月24日9時34分頃、山陽本線の朝霧駅～明石駅間の朝霧川橋梁上り電車線において、線路内で現場調査を行っていた保線区の仲間1名が、姫路発米原行の快速電車(電第736T列車)に触車し、命を落とした。事故後、5秒ルールの制定などの安全対策が講じられた。

【現場略図】

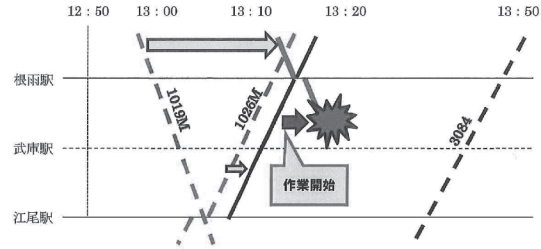


伯備線触車事故

事故の概況

2006年1月24日13時18分頃、伯備線の根雨駅～武庫駅間で保線作業を行っていた仲間3名が、遅れてきた特急列車(スーパーやくも9号)に触車し、命を落とした。事故後、再発防止に向け、GPS列車接近警報装置、可搬式区間防止装置(ATS)、触車事故防止準則の改正など様々な安全対策が講じられた。

【当日の列車ダイヤ】



【平面略図】

